

平成27年度全国学力・学習状況調査における  
児童生徒・学校質問紙調査結果の概要

平成27年8月30日  
学力向上推進PT

○学校での組織的な取組

《改善が見られた項目》

学習指導要領では、児童生徒が主体的に学習に取り組むために、授業において見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を取り入れることが示されています。

県では、校長のリーダーシップによる組織的・継続的な取組に注力してきたことにより、調査結果から、校長による授業の見回りや、教員による授業での「目標の提示」、「振り返る活動」については、一定の改善が見られ意識が高まっていると考えられます。

項目	手立て	結果
授業の目標の提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問</li> <li>・国の調査官を招聘した授業改善に係る研修会</li> <li>・県・市町指導主事の研修会及び会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児童： 75.7→ 83.0 〈全国〉： 〈82.0〉 〈86.3〉</li> <li>・小学校： 91.3→ 97.8 〈全国〉： 〈96.9〉 〈98.1〉</li> <li>・中生徒： 62.1→ 75.5 〈全国〉： 〈71.5〉 〈79.7〉</li> <li>・中学校： 88.3→ 87.6 〈全国〉： 〈94.0〉 〈95.7〉</li> </ul> <p>(H26→H27)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では、児童質問紙、学校質問紙いずれにおいても、全国平均を下回っているものの、実施している割合は増加し、全国平均との差も縮まっている。</li> <li>・中学校では、生徒質問紙において、全国平均を下回っているものの、実施している割合は増加し、全国平均との差も縮まっている。一方、学校質問紙は全国平均を下回り、その差も広がっている。これらの結果、学校と生徒との割合の差は縮まり、全国の差よりも小さくなった。</li> </ul>

<p>授業の振り返る活動の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校訪問</li> <li>・ 国の調査官を招聘した授業改善に係る研修会</li> <li>・ 県・市町指導主事の研修会及び会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">小</span>児童： 67.1→ 71.4  <span style="font-size: 0.8em;">〈全国〉： 〈71.9〉 〈75.3〉</span></li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">小</span>学校： 76.3→ 89.9  <span style="font-size: 0.8em;">〈全国〉： 〈91.6〉 〈93.9〉</span></li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">中</span>生徒： 51.4→ 58.3  <span style="font-size: 0.8em;">〈全国〉： 〈53.3〉 〈59.3〉</span></li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">中</span>学校： 84.5→ 87.5  <span style="font-size: 0.8em;">〈全国〉： 〈89.2〉 〈90.9〉</span></li> </ul> <p style="text-align: center;">(H26→H27)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒・学校の全ての結果において、昨年度の割合や全国平均と比べても、大きな改善が見られる。ただし、小学校では、学校の認識ほど児童の認識は高まっておらず、今後、その差を縮める必要がある。</li> </ul>
<p>校長の授業の見回り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長研修会実施(4/3)</li> <li>・ 学校訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">小</span>学校： 65.1→ 84.5→ 95.4  <span style="font-size: 0.8em;">〈全国〉： 〈81.5〉 〈91.6〉 〈93.1〉</span></li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">中</span>学校： 53.3→ 69.2→ 81.4  <span style="font-size: 0.8em;">〈全国〉： 〈68.3〉 〈79.3〉 〈81.4〉</span></li> </ul> <p style="text-align: center;">(H21→H26→H27)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校ともに大きな改善が見られ、特に小学校では、全国平均を上回った。</li> </ul>

○家庭での過ごし方（生活習慣・学習習慣）

《改善が見られた項目》

本年度の調査結果からは、テレビ等の視聴時間の減少とともに、家庭での学習習慣について、主体的な学習（計画的な学習、予習・復習）を行っている児童生徒の割合の増加が見られ、家庭での過ごし方の改善が見られます。

(生活習慣)

項目	手立て	結果
平日のテレビ等視聴時間(3時間以上)	・生活習慣・読書習慣 「チェックシート」 キャンペーン実施	・小児童： 47.1→38.4→35.8 〈全国〉：〈45.7〉〈38.0〉〈36.1〉 中生徒： 42.1→35.2→32.4 〈全国〉：〈38.0〉〈31.5〉〈30.5〉 (H21→H26→H27) ・小中学校ともに、視聴時間は減少し、小学校の割合は、全国と比べても減少している。

(学習習慣)

項目	手立て	結果
家で、自分で計画を立てて勉強している	・生活習慣・読書習慣 「チェックシート」 キャンペーン実施	・＜計画を立てて勉強＞ 小児童： 51.5→59.4→60.5 中生徒： 36.8→47.3→51.0
家で、学校の宿題をしている		・＜宿題＞ 小児童： 96.1→97.3→97.3 中生徒： 80.9→87.7→90.9
家で、学校の授業の予習をしている		・＜予習＞ 小児童： 33.9→42.0→42.0 中生徒： 29.0→34.6→37.4
家で、学校の授業の復習をしている		・＜復習＞ 小児童： 39.1→48.7→50.1 中生徒： 33.7→45.5→48.9 (H21→H26→H27) ・特に中学校での改善が著しい。 ・小学校の「宿題をしている割合」「予習をしている割合」以外の全ての項目については、H21、H26に比べ、増加している。

《改善が見られない項目》

テレビ等の視聴時間は、改善の傾向がある（前頁参照）ものの、スマホの使用時間の増加が著しく、このことが学習時間に影響していると考えられます。

(生活習慣)

項目	手立て	結果
<p>基本的な生活習慣を身につけた子どもたちの割合（朝食を毎日食べている・毎日、同じくらの時刻に起床就寝している）</p>	<p>・生活習慣・読書習慣「チェックシート」キャンペーン実施 ・「スマートフォン等の使用に関する実態調査」(H26)公立小中学校の抽出校での実施、結果のフィードバック</p>	<p>・小児童： 87.2→ 88.3→ 88.3 〈全国〉： 〈87.1〉 〈88.7〉 〈88.7〉 中生徒： 84.0→ 86.9→ 86.8 〈全国〉： 〈84.2〉 〈86.6〉 〈86.9〉 (H21→H26→H27) ・H21と比較すると割合は改善されているものの、小学校では、全国との差が広がっている。 ・特に、小学校の朝食の習慣や同時刻の起床については、全国との差が大きくなっている。 (全国との差) 同時刻の起床： H21 +0.3 H26 0.0 H27 -0.3 朝食の習慣： H21 -0.2 H26 -0.3 H27 -0.3</p>
<p>平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上）</p>		<p>・小児童： 4.0→ 5.6→ 6.3 中生徒： 10.2→24.5→21.5 (H21→H26→H27) ・昨年度の割合と比較すると改善の傾向が見られるものの、H21と比較すると割合の増加が著しい。 (スマホの普及が一要因と考えられる。)</p>

(学習習慣)

項目	手立て	結果
平日の学習時間(1時間以上)	・生活習慣・読書習慣 「チェックシート」 キャンペーン実施	・ <input type="checkbox"/> 小児童： 55.4→ 59.4→ 58.4 〈全国〉： 〈57.2〉 〈62.0〉 〈62.7〉 <input type="checkbox"/> 中学生徒： 64.6→ 64.4→ 66.5 〈全国〉： 〈65.3〉 〈67.9〉 〈69.0〉 (H21→H26→H27) ・全国との差は広がる傾向にある。 ・小中学校ともに顕著な改善が見られない。
休みの日の学習時間 (3時間以上)		・ <input type="checkbox"/> 小児童： 8.8→ 9.0→ 9.0 〈全国〉： 〈11.3〉 〈11.5〉 〈11.9〉 <input type="checkbox"/> 中学生徒： 11.2→ 12.6→ 12.9 〈全国〉： 〈15.4〉 〈16.9〉 〈17.7〉 (H21→H26→H27) ・小中学校ともに割合は微増しているものの、全国との差が広がる傾向にある。

## ○読書習慣

### 《改善が見られた項目》

学校における学校図書館を活用した授業の実施状況については、著しく改善されています。

項目	手立て	結果
学校図書館を活用した授業を計画的に実施（学期に数回以上）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第三次三重県子ども読書活動推進計画」に基づく読書活動の推進</li> <li>・司書派遣事業の実施（6市町11校）</li> <li>・学校訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>小</b>学校：69.8→77.2→81.8</li> <li>・<b>中</b>学校：35.2→39.5→44.7 （H21→H26→H27）</li> <li>・小中学校ともに授業で計画的に実施する学校の割合が高くなった。</li> </ul>

### 《改善が見られない項目》

生活習慣・読書習慣チェックシートを活用するなどし、読書を習慣づけるよう取り組んできました。

授業における学校図書館の活用は、実施率が高くなっているものの、昼休みや放課後、休みの日などに図書館を利用する児童生徒の割合は、減少しており、自主的なものにはなっていません。

項目	手立て	結果
学校図書館・室や地域の図書館の利用（月1回以上）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第三次三重県子ども読書活動推進計画」に基づく読書活動の推進</li> <li>・生活習慣・読書習慣「チェックシート」キャンペーン実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>小</b>児童：39.8→42.1→40.0 〈全国〉：〈42.5〉〈42.9〉〈40.7〉</li> <li>・<b>中</b>生徒：17.5→18.4→17.4 〈全国〉：〈18.4〉〈18.9〉〈19.6〉 （H21→H26→H27）</li> <li>・小学校では、全国平均と比べるとその差は縮まっているものの、割合は減少している。一方、中学校においては、割合も減少しており、全国平均との差も広がっている。</li> </ul>

## ○家庭・地域との関わり

### 《改善が見られた項目》

調査開始以来、児童生徒の地域の行事に参加する割合は、全国と比較しても高く、特に小学生の参加の割合は高い傾向にあります。あわせて、小学校で保護者等の学校行事への参加も高い傾向にあります。

項目	手立て	結果
地域行事への参加	・「みえの学力向上県民運動」の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>小</b>児童： 65.7→73.2→72.0 〈全国〉：〈62.4〉〈68.0〉〈66.9〉</li> <li>・<b>中</b>生徒： 43.6→50.4→50.7 〈全国〉：〈37.8〉〈43.5〉〈44.8〉 (H21→H26→H27)</li> <li>・H27においては、小学校で減少傾向にあるものの、小中学校ともに全国平均を大きく上回る状況にある。</li> </ul>
家の人学校行事への参観等  ※小学校児童質問紙調査により児童の回答結果を示す。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>小</b>児童： 97.4→97.6 〈全国〉：〈96.5〉〈96.6〉 (H26→H27)</li> <li>・割合は大きな増加はないものの、全国平均を上回っており、その差も若干広がっている。</li> </ul>

### 《改善が見られない項目》

保護者等の学校行事への参加については、小学校で全国平均を上回っているのとは対照的に、中学校では全国平均を下回っており、学校と家庭との連携について考えることが必要です。

項目	手立て	結果
家の人学校行事への参観等  ※中学校生徒質問紙調査により生徒の回答結果を示す。	・「みえの学力向上県民運動」の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>中</b>生徒： 78.8→78.9 〈全国〉：〈83.1〉〈83.4〉 (H26→H27)</li> <li>・割合は若干増加しているものの、全国平均を大きく下回り、昨年度の割合よりもその差は広がっている。</li> </ul>

## ○自尊感情

### 《改善が見られた項目》

中学校では、「自分には、よいところがあると思う」も増加傾向にあり、将来に希望を見出し、自尊感情をもった生徒が増加していると考えられます。

項目	手立て	結果
自分には、よいところがあると思う ※中学校生徒質問紙調査により生徒の回答結果を示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みえの学力向上県民運動」の促進</li> <li>・「子どもの支援ネットワークモデル中学校区」の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>中</b>生徒：63.0→69.1→69.4 〈全国〉：〈61.2〉〈67.1〉〈68.1〉 (H21→H26→H27)</li> <li>・中学校生徒の割合は、増加している。全国平均と比較すると、その差は縮まっているものの、全国平均を上回っている。</li> </ul>

### 《改善が見られない項目》

小中学校ともに「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」・「将来の夢や目標を持っている」については、若干の増加傾向にあるものの、全国と比較すると改善したとは言えない状況です。小学校児童の「自分には、よいところがあると思う」の割合について、改善が見られません。

項目	手立て	結果
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する・将来の夢や目標を持っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みえの学力向上県民運動」の促進（三重のまなび場づくりの実施）</li> <li>・「子どもの支援ネットワークモデル中学校区」の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>小</b>児童：80.6→81.0 〈全国〉：〈80.9〉〈81.5〉</li> <li>・<b>中</b>生徒：70.6→70.7 〈全国〉：〈69.7〉〈70.3〉 (H26→H27)</li> <li>・若干の改善が見られるものの、全国平均と比較すると、小学校では全国を下回っており、その差は広がっている。中学校は、全国より上回っているものの、その差は縮まっている。</li> </ul>
自分には、よいところがあると思う ※小学校児童質問紙調査により児童の回答結果を示す。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>小</b>児童：75.1→75.7→75.1 〈全国〉：〈74.6〉〈76.1〉〈76.4〉 (H21→H26→H27)</li> <li>・小学校児童の割合は、増加が見られない。全国平均と比較しても、全国を下回り、その差も広がっている。</li> </ul>